

災害リスク軽減における作業療法

Position Statement on Occupational Therapy in Disaster Risk Reduction (DRR) CM2016

## 概要

作業療法の基本目標は、人々がある範囲の環境において日常生活の活動にうまく参加できるようになることである。作業療法士は、人々の生活がより意味のあるものになるようなことを行う能力を高めることによって、この成果に達する。

自然災害や人災は世界中でより頻繁に起こっている。世界作業療法士連盟は、災害が生活の喪失、財産の破壊、重大な経済的損失、作業機会の減少の原因になると考えている。災害は人の健康、身体能力、健康感に影響を及ぼし、生活の中で親しんだ価値のある活動に結び付く能力の障害を起こす。

世界の作業療法士は、馴染みがある役割や生活の日課や作業を回復し、維持する活動に結び付くことを最優先に考えている。災害リスクを減少する上での重要な関心事は、個人とコミュニティの幸福とレジリエンスの発達であり、脆弱性の減少であり、災害への備えを増大し、当面の災害への警戒のためのシステムを作ることである。

## 世界作業療法士連盟のポジション

災害リスク減少戦略は、権利を基盤とし平等で住民中心で環境的に持続可能なものでなければならない。インクルージョンを確実にするために、障害を含むことと地域に根ざしたアプローチが採用されるべきであり、年齢、性別、ジェンダー、宗教、文化的アイデンティティ、経済状態による差別をしてはならない。

ケアのための住民中心のアプローチに不可欠な要素は、障害者の権利と視点を尊重することである。障害者は、災害時に安全性やサバイバルについての情報に差別なくアクセスできなければならない。これは教育とアウトリーチによってサポートされなければならない。精神的、身体的リハビリテーションとアクセシビリティは、災害準備、リスク軽減、人道主義的反応といったすべての側面と段階において必須である。物理的、情動的バリアの克服とすべての人のためのアクセシビリティを確実にすることは、ユニバーサルデザインを通して実現され得る。全体として、作業への参加は自然災害に関わるすべての人にとって不可欠な要素なのである。

## 社会にとっての重要性

突然の災害の影響を軽減する戦略が、リスクを減らし地球規模での持続可能性を高めるために、すべての人の思考の一部になることが必要である。インクルーシブな災害リスク軽減と準備には、市民の声と市民の見方を推進することができる環境の創造が必要である。コミュニティ計画では、災害のもっとも深刻な帰結を避けるために撮るべき行動を協力して考えていくべきである。これには、人々の健康と安全のために必要な健康なエコシステムを維持し足り、身体的多様性を維持するために、環境的まともり (environmental integrity) の原則を含むべきである。

## 作業療法にとっての重要性

災害の予防、準備、軽減のための最適なアプローチは、ホリスティックで前向きで先見的である。災害リスク軽減の努力は、特定地域における頻発する災害に対してまず焦点が当てられ、その他のことが考えられるが、深刻な潜在的リスクについて焦点が当てられることは少ない。

## 作業療法士の役割

災害リスク軽減における作業療法士の具体的役割は次のものを含むが、この限りではない。

- インクルージョンについて、収集、測定、経過観察、評価を確実にすることが、災害リスク軽減戦略計画でなくてはならない。
- リスクが特定された地域での準備計画を促進する。
- 障害特有のリスクの軽減と能力評価に貢献する。これにはリスクと資源のマッピングを含む。
- 障害に関する意識啓発と関係者間で共有する決意を打ち立てる。
- 具体的な作業療法教育と能力育成のためのピアトレーニングを提供する。
- 個人、集団、介護者と一緒に災害準備戦略についての教育を提供する。ここには家族の災害プランやキット、撤退計画を含む。
- 災害準備、地域での克服戦略、リスク軽減戦略において、コミュニティの構成員やボランティアをトレーニングする。

<https://www.wfot.org/resources/occupational-therapy-in-disaster-risk-reduction-drr> (2020年5月2日 吉川ひろみ・訳)

- 地域での計画, 検査, 練習に参加する。
- 作業に焦点を当てることを推進する。
- 地域のサポートや習慣を作り上げるうえで, 地域のリーダーやその他の人たちと連携し, その人たちを励ます。

### チャレンジ

作業療法士にとってのチャレンジは, 作業療法のポリシーや実践のなかで, 災害リスク軽減を理解し概念化することにある。これは, 災害リスク軽減とさまざまなレベルで関係者との対応に効果的に取り組んでいくための知識と能力を構築することであり, 災害リスク軽減のインクルージョンや, 既存の作業療法や健康や地域のプログラムのなかで, レジリエンス構築の考慮点について主張していくことである。

- 地域レベルでは, インクルーシブで人権尊重を促進する戦略のために地域のパートナーと一緒に取り組む。
- 国レベルでは, 脆弱な集団と関連がある政策の開発, アクセシビリティ, ユニバーサルデザインのために貢献する。
- 地球レベルでは, 最低基準, 戦略, プロトコルを推進するための国際的パートナーと一緒に取り組む。

### ストラテジー

個々の作業療法士においては, 地域のコミュニティの災害準備と計画における脆弱な集団のインクルージョンを確実なものにする。

国の組織においては, 全国的なワークショップや能力構築を通して, 政府の政策開発に貢献することを通して, 災害準備とリスク軽減における作業療法士の効果的関与をサポートする。

WFOT においては, 作業療法の貢献を含む災害リスク軽減戦略の開発を促進するために, 国際組織と一緒に積極的に取り組む。